



学科・専攻	電子情報工学科	学籍番号	1815008	氏名	安藤祐斗
題目	ディープラーニングの分散処理を実行する				

## 報告日までの取り組み

PDCA サイクル	設定目標 (P)	A-4 台のスレイブ PC でディープラーニングの例を実行する。 B-ディープラーニングを応用している論文を調べる,
	取組内容 (D)	A-コア数 2、メモリ 2GB ずつで 4 台のスレイブで実際に実行ができた。 B-アーカイブの deeplearning × MAS の論文が気になったので MAS について調べていた。
	課題整理 (C)	A-実行速度は速くなったが、精度は少し下がったため、バッチサイズの調整が必要かもしれない。 B-できれば日本語のものでディープラーニングの応用例の論文を探す。
	改善方策 (A)	A-正しいバッチサイズの設定方法を調べる。 B-研究室にいる時間を増やす。

## 報告日

やりたいことより、やるべきことを	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	